

静岡県 新型コロナウイルス
の罹患後症状（後遺症）
アンケート調査結果
～デルタ株以前、オミクロン株BA.1/2、
そしてBA.5の三者比較～
（2023年3月31日時点）

静岡県健康福祉部 新型コロナ対策企画課

今回の比較検討について

対象とグループ分け

静岡県ではホームページ上で「静岡県 新型コロナウイルス感染症の後遺症についての実態調査【県民向け】」を2021年12月6日から実施しており、前回まとめた2022年4月15日以降、新たに回答があった方の分を含め、**2023年3月31日までに回答した方917人**を感染時期から以下の3グループに分けて回答内容を比較検討した。

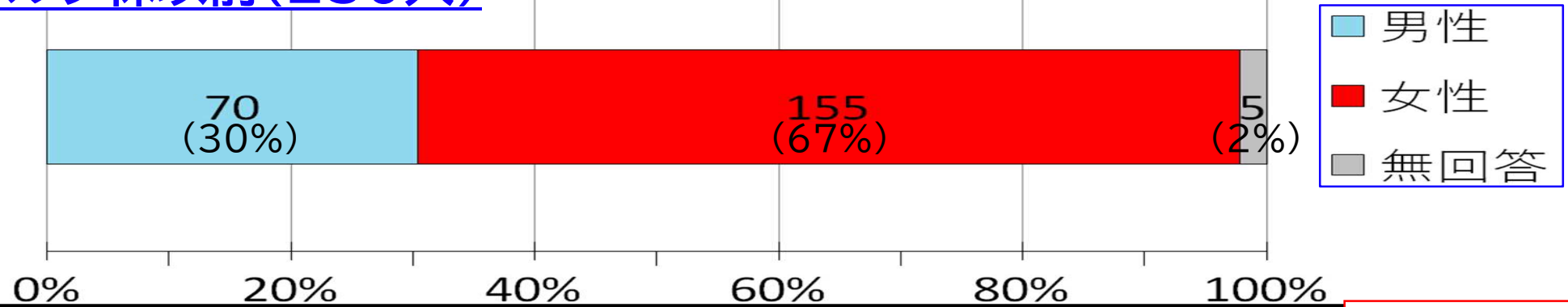
- ① 2021年12月31日までに新型コロナウイルスに感染した（陽性確認された）**230人**。この方たちは、感染時期から新型コロナウイルスのデルタ株以前の株に感染したと判断し、「**デルタ株以前グループ（デルタ群）**」とした。
 - ② 2022年1月1日～6月30日に新型コロナウイルスに感染した（陽性確認された）**292人**。この方たちは、感染時期から新型コロナウイルスのオミクロン株BA.1系統またはBA.2系統に感染したと判断し、「**オミクロン株BA.1/2グループ（BA.1/2群）**」とした。
 - ③ 2022年7月1日以降に新型コロナウイルスに感染した（陽性確認された）**395人**。この方たちは、感染時期から新型コロナウイルスのオミクロン株BA.5系統に感染したと判断し、「**オミクロン株BA.5グループ（BA.5群）**」とした。
- なお、②BA.1/2群と③BA.5群の両者の総称を「オミクロン群」とした。

本調査に回答していただいた方に示した罹患後症状（後遺症）の定義

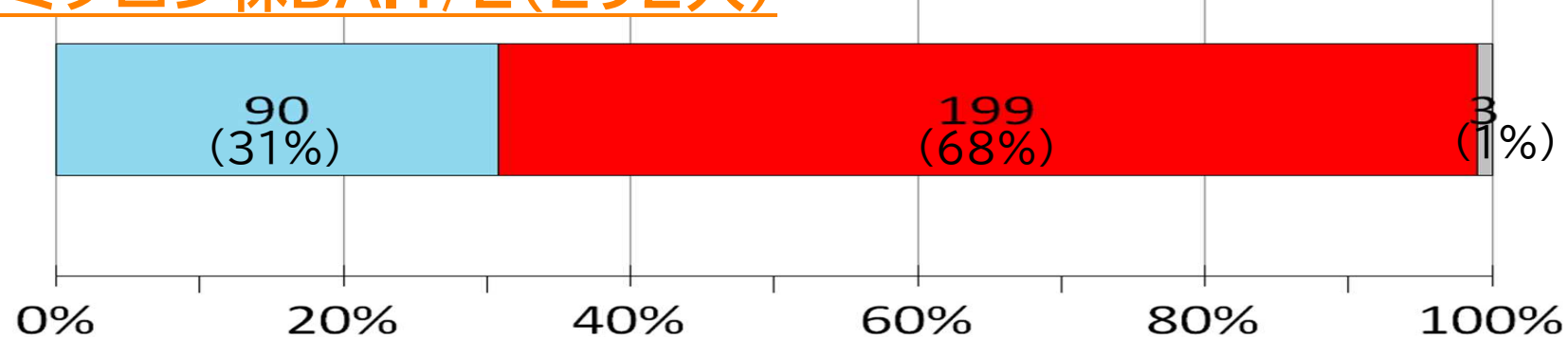
新型コロナウイルス感染症に感染後、4週間以上症状が持続し、その他の疾患では説明がつかないもの

(1) コロナ後遺症調査 回答者の性別

デルタ株以前(230人)

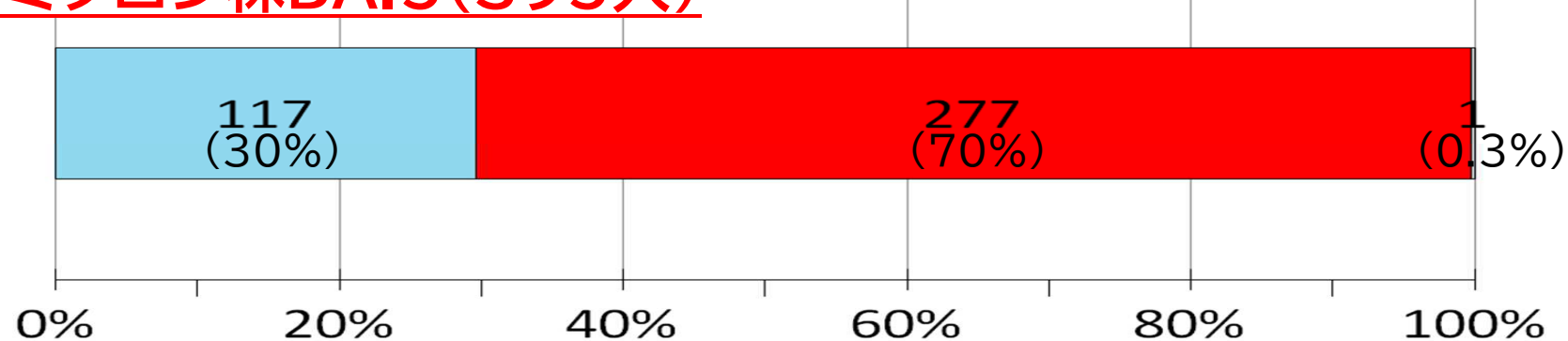


オミクロン株BA.1/2(292人)



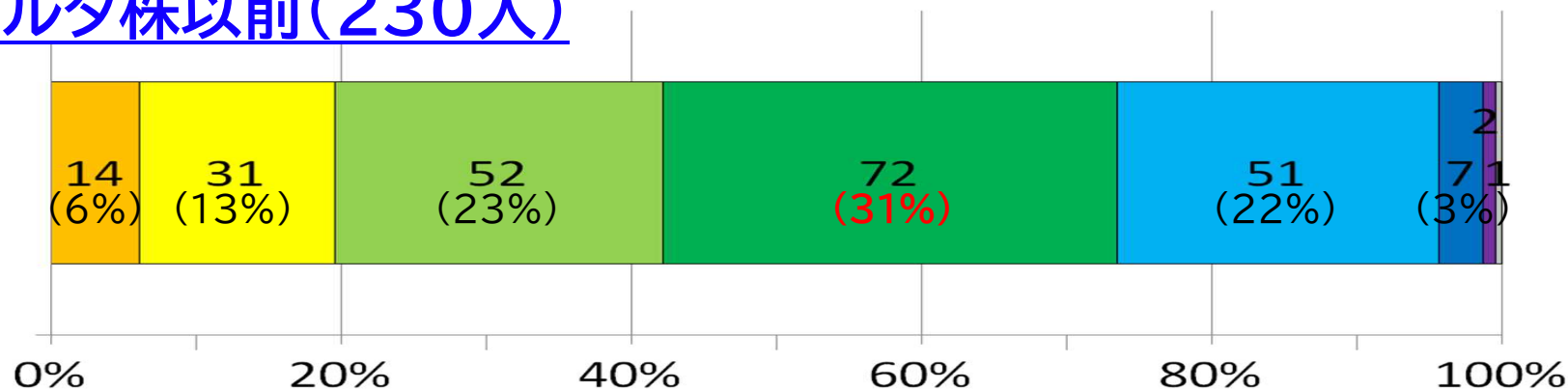
• 性別は、3群とも女性が多く、約7割

オミクロン株BA.5(395人)

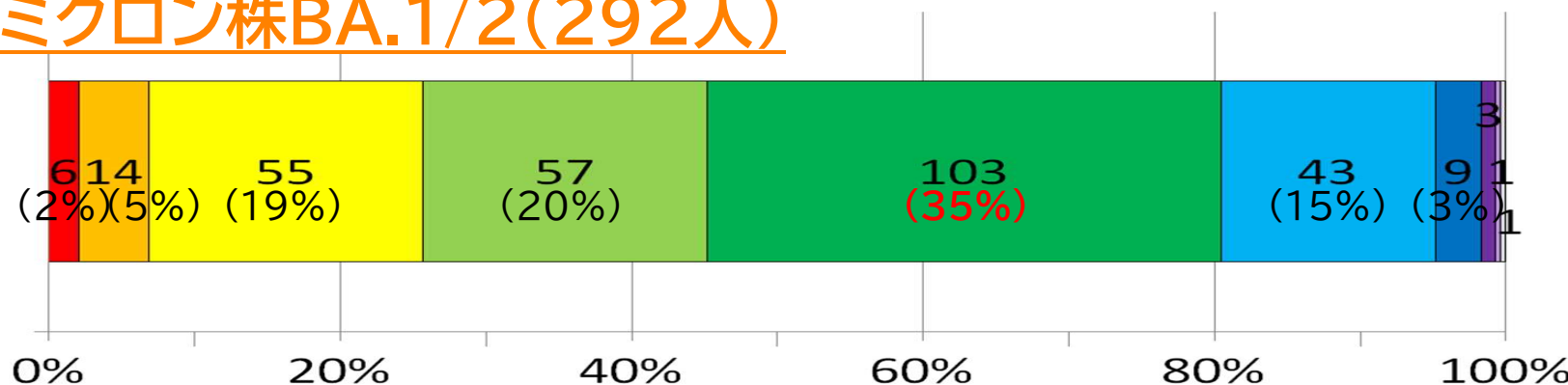


(2) コロナ後遺症調査回答者の年代

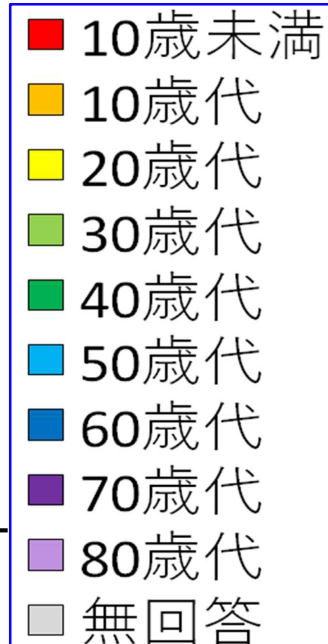
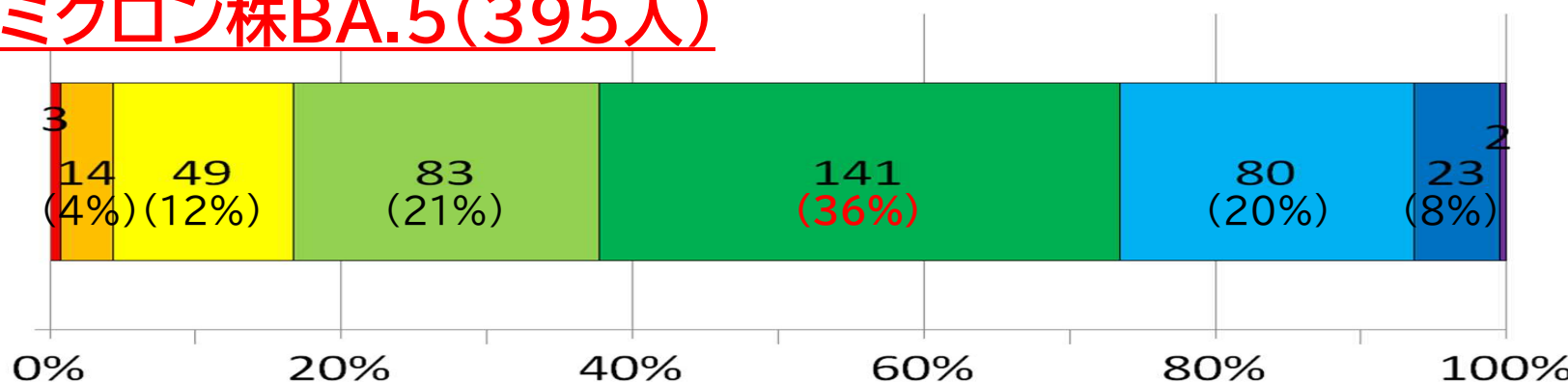
デルタ株以前(230人)



オミクロン株BA.1/2(292人)



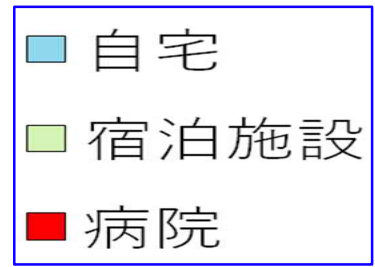
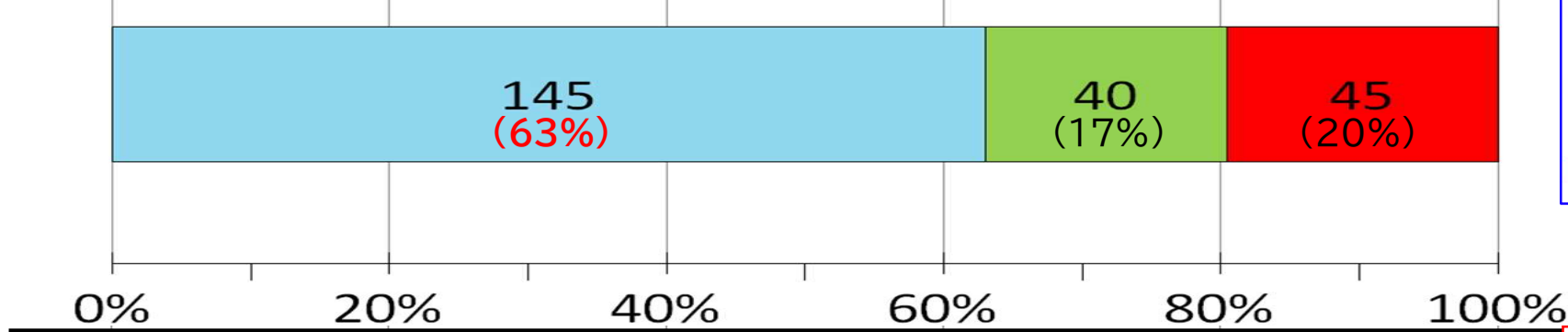
オミクロン株BA.5(395人)



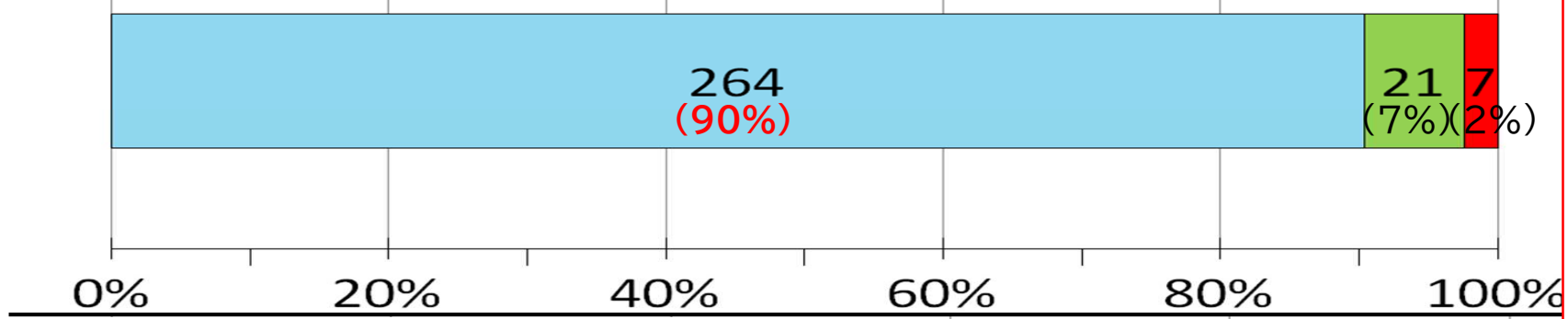
- 3群とも40歳代が最多で約3分の1
- 3群とも次は30歳代で約2割
- その次は、BA1/2群は20歳代、他は50歳代

(3)回答者の療養場所

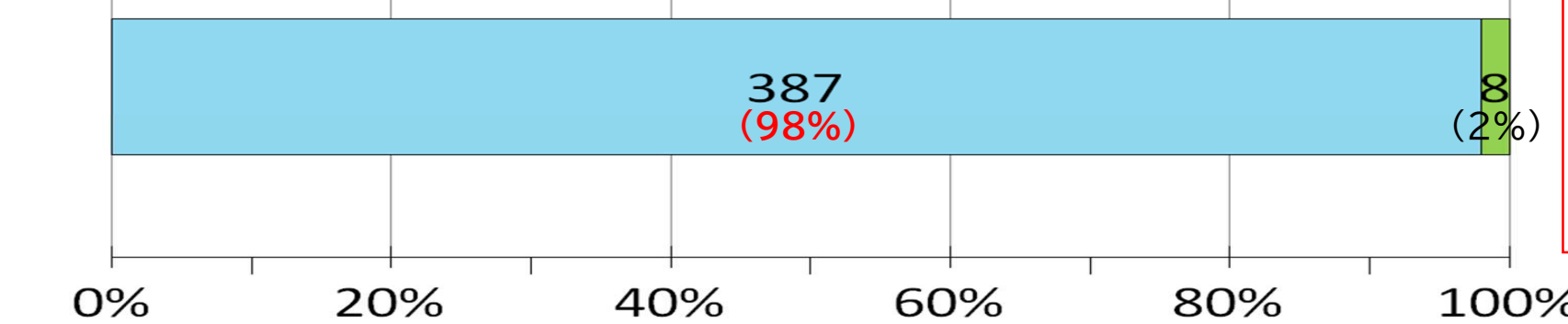
デルタ株以前(230人)



オミクロン株BA.1/2(292人)



オミクロン株BA.5(395人)

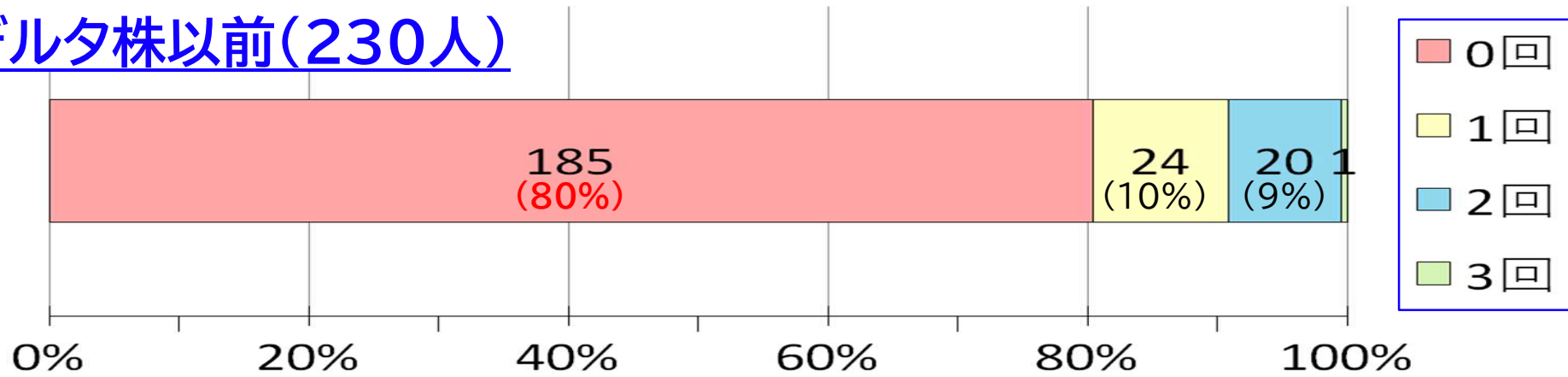


•入院は次第に減少し、BA.1/2群は、デルタ群の10分の1の2%、BA.5群は0%

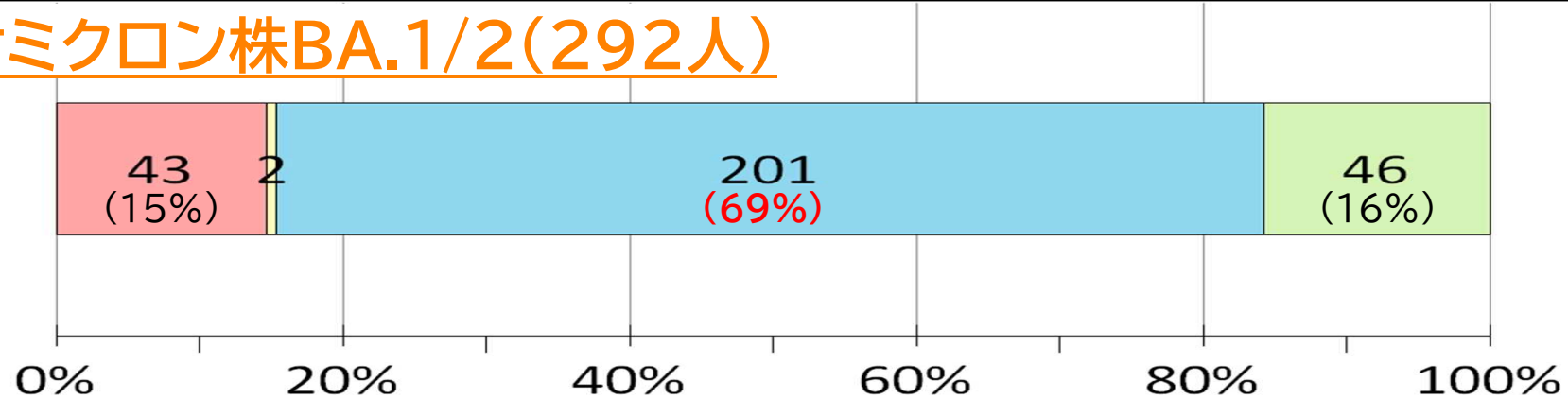
•宿泊療養も、次第に減少し、BA.5群は、2%

(4) コロナ感染時のワクチン接種済み回数

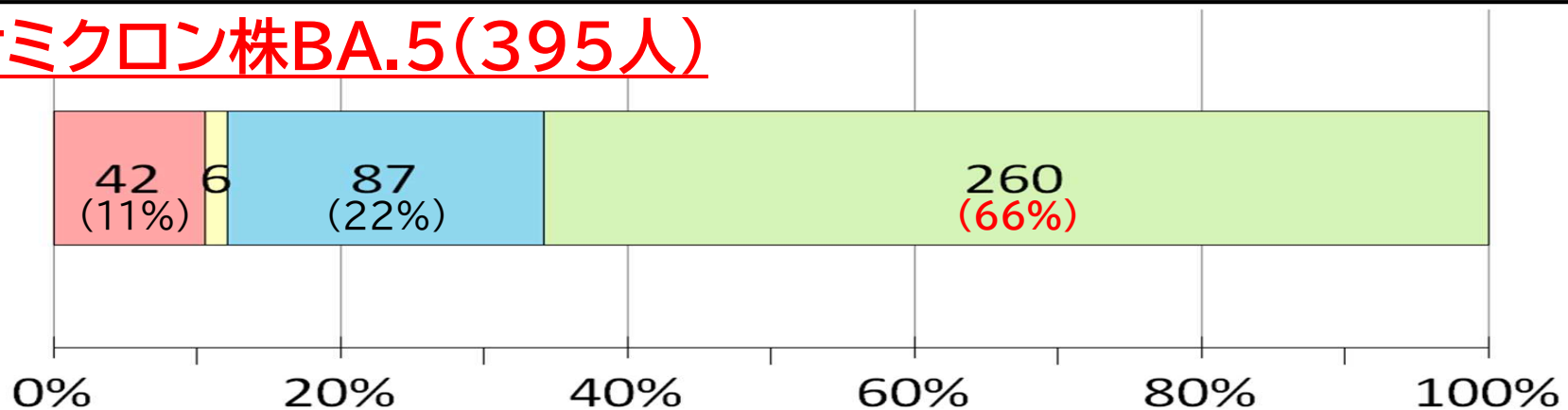
デルタ株以前(230人)



オミクロン株BA.1/2(292人)



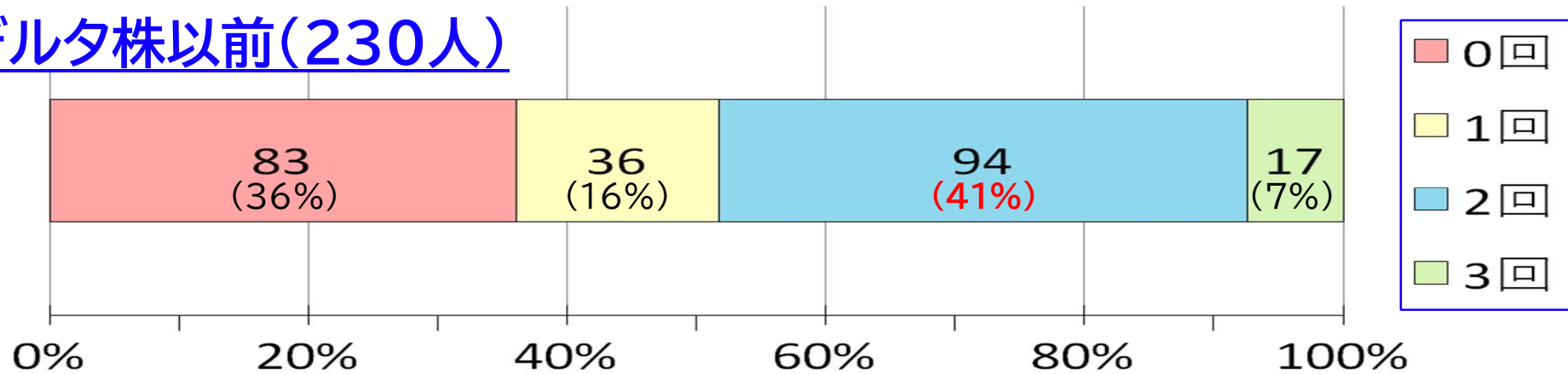
オミクロン株BA.5(395人)



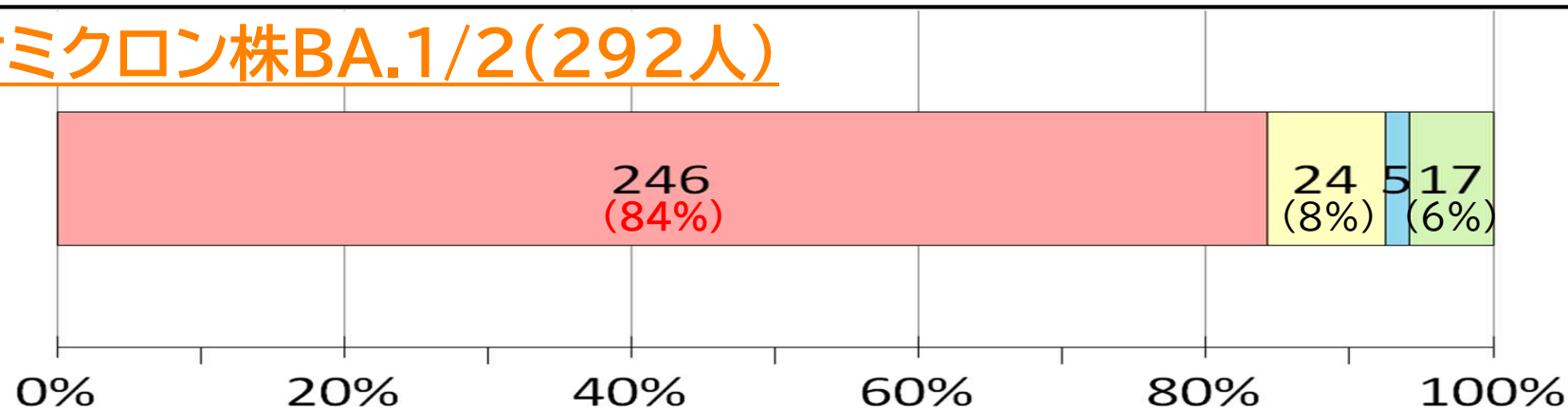
- コロナ感染時のワクチン接種済み回数は、次第に増加
- 最も多い接種回数は、デルタ群は0回、BA.1/2群2回、BA.5群3回

(5)後遺症の症状がある期間に受けたワクチンの接種回数

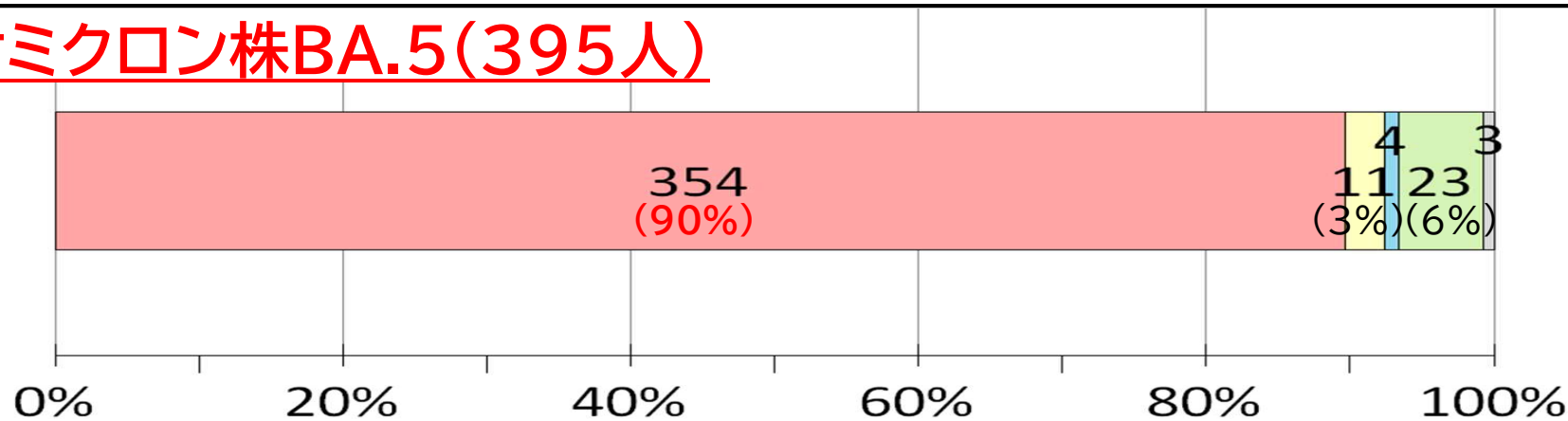
デルタ株以前(230人)



オミクロン株BA.1/2(292人)



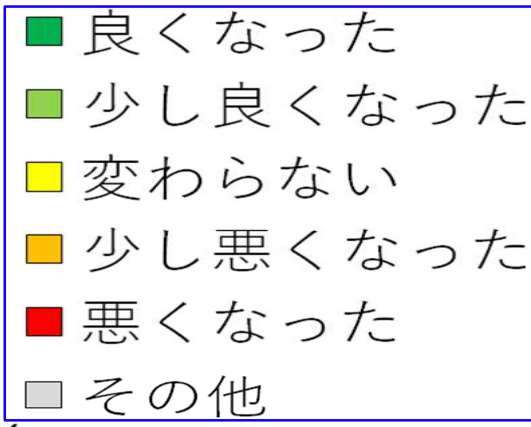
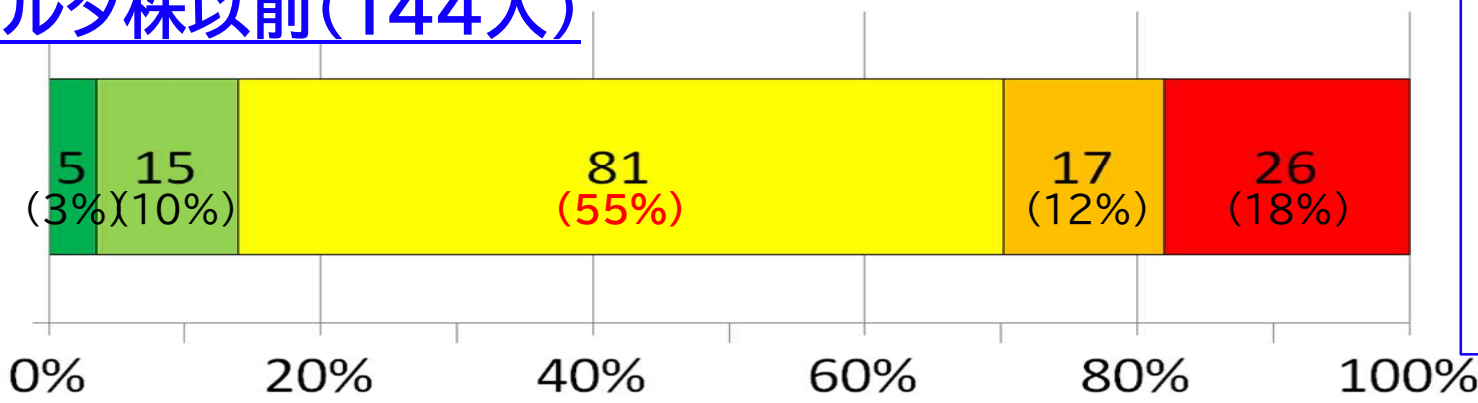
オミクロン株BA.5(395人)



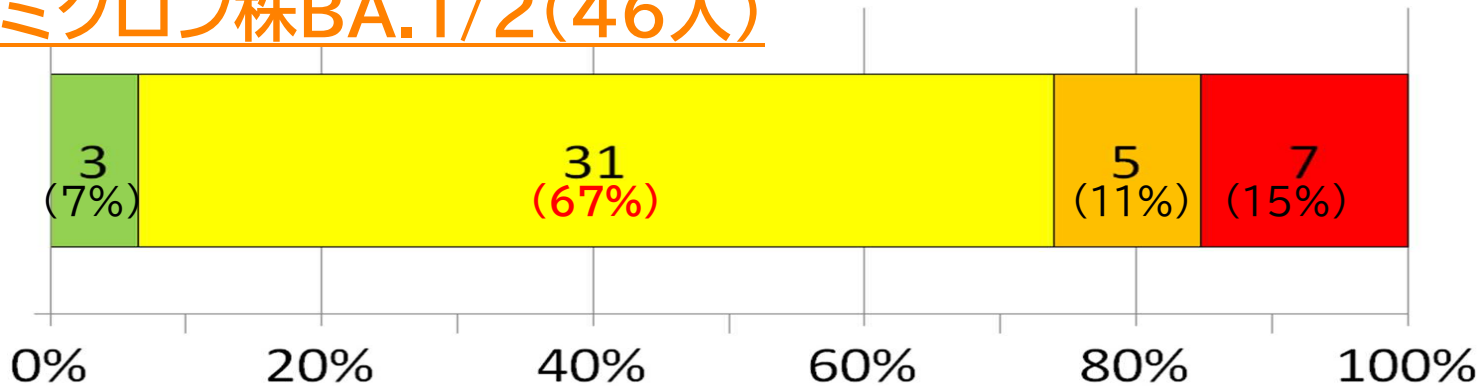
・コロナ後遺症の症状が出ている期間に受けたワクチン接種回数は、デルタ群は2回が最も多く、BA.1/2群とBA.5群は0回が最も多い

(6)後遺症の症状がある期間に受けたワクチンによる症状の変化

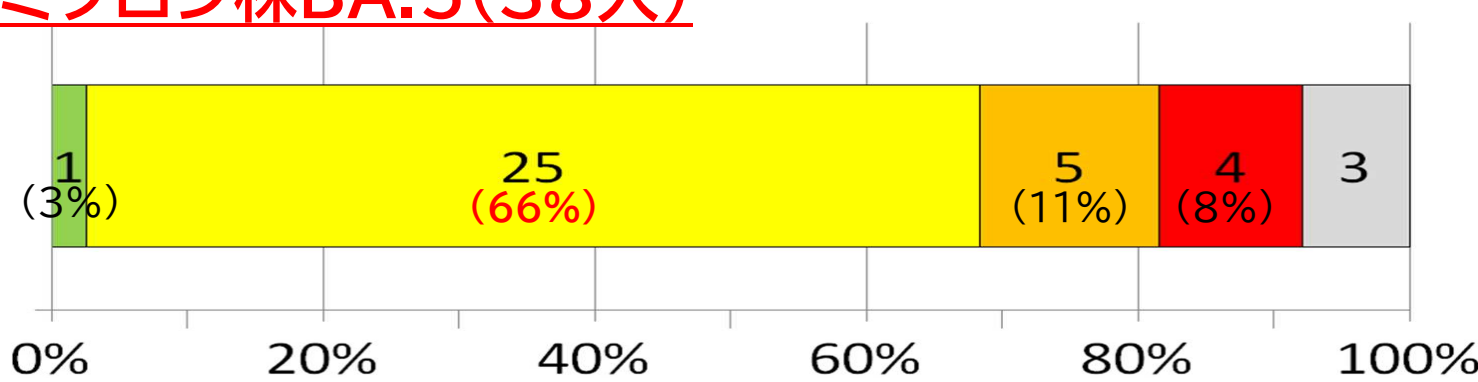
デルタ株以前(144人)



オミクロン株BA.1/2(46人)



オミクロン株BA.5(38人)

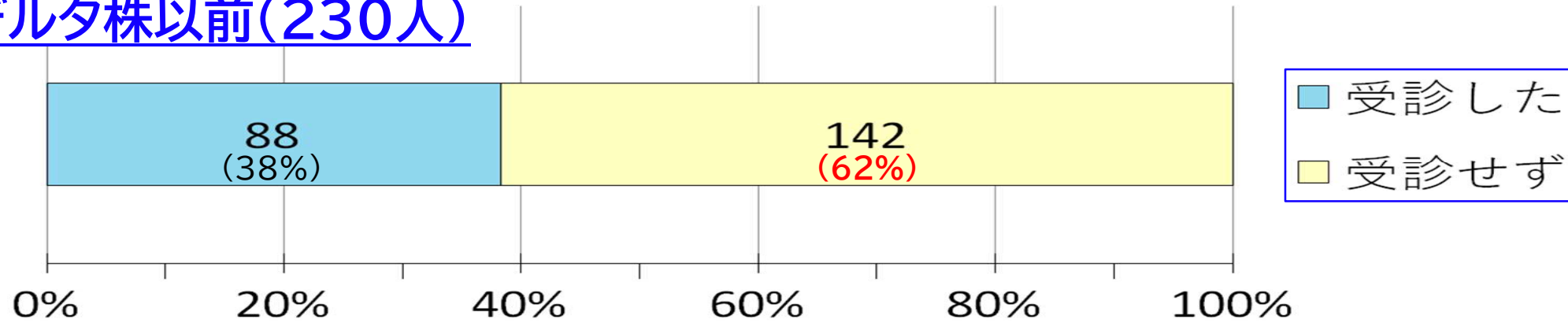


・コロナ後遺症の症状が出ている期間に受けたワクチン接種による症状の変化は、3群とも不変が最多で5~6割、悪化は2~3割

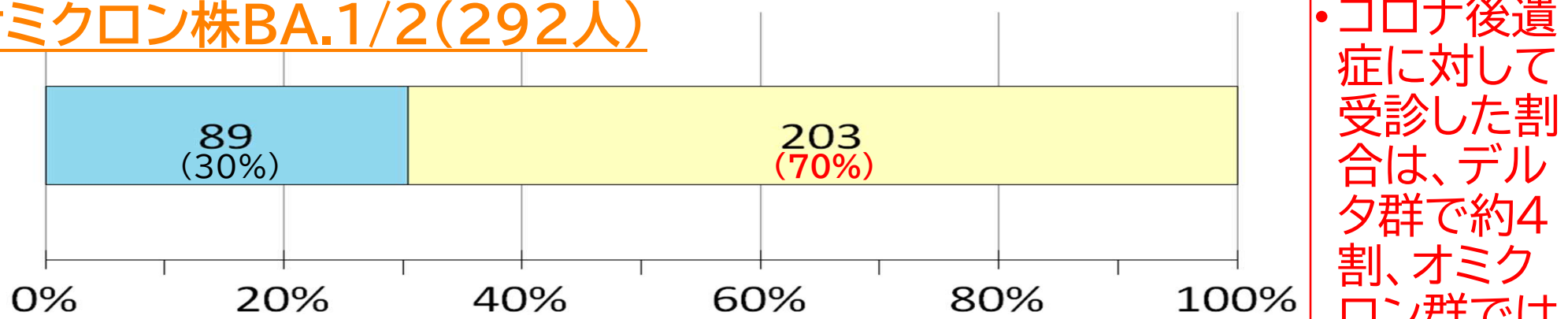
・オミクロン群で、ワクチン接種による症状の改善が減少した印象

(7)後遺症の受診状況

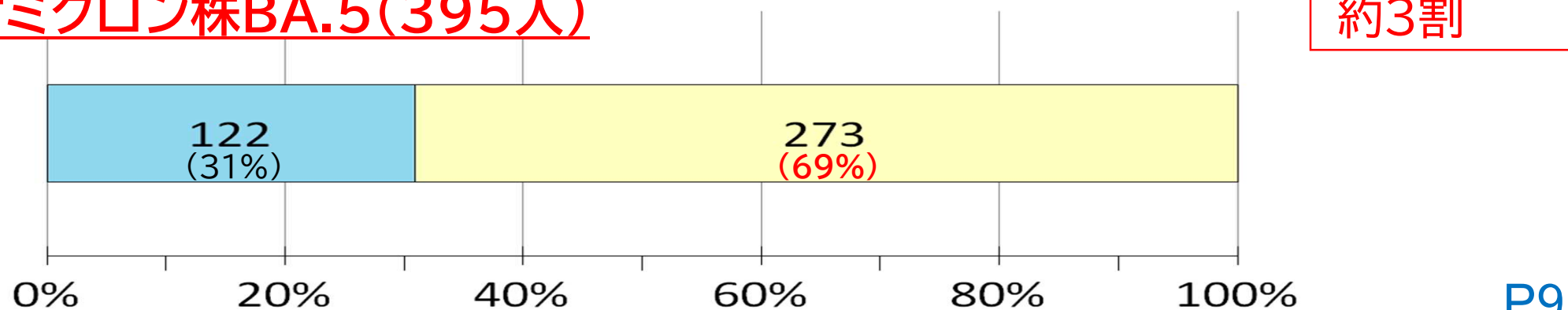
デルタ株以前(230人)



オミクロン株BA.1/2(292人)



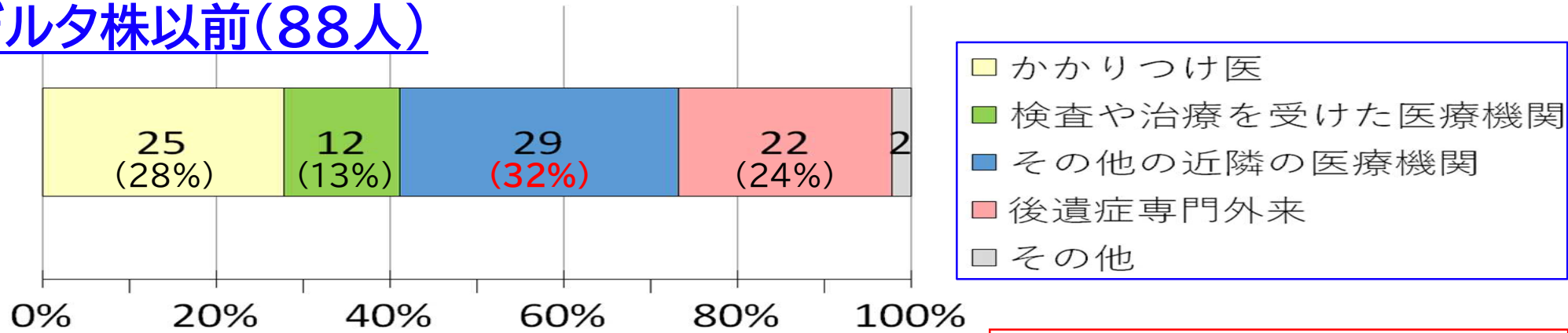
オミクロン株BA.5(395人)



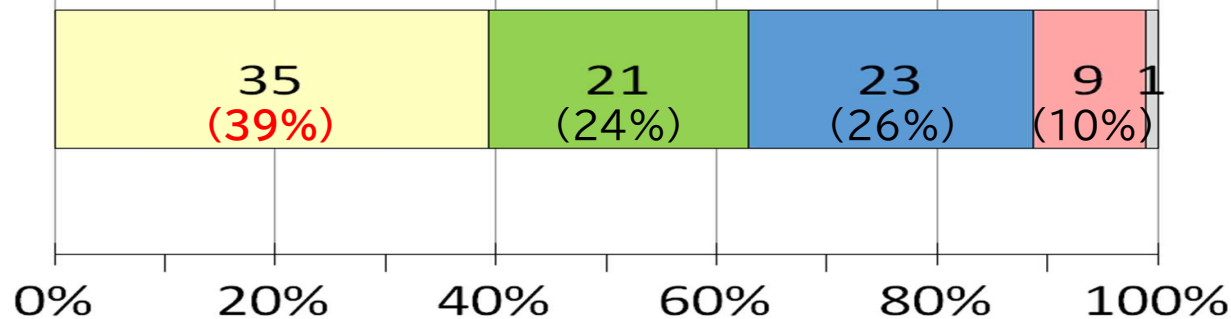
• コロナ後遺症に対して受診した割合は、デルタ群で約4割、オミクロン群では約3割

(8)後遺症の受診をした医療機関の状況

デルタ株以前(88人)

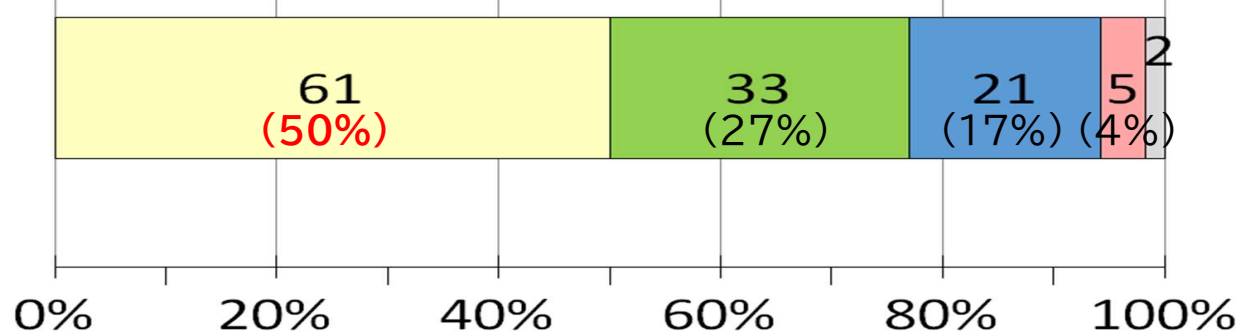


オミクロン株BA.1/2(89人)



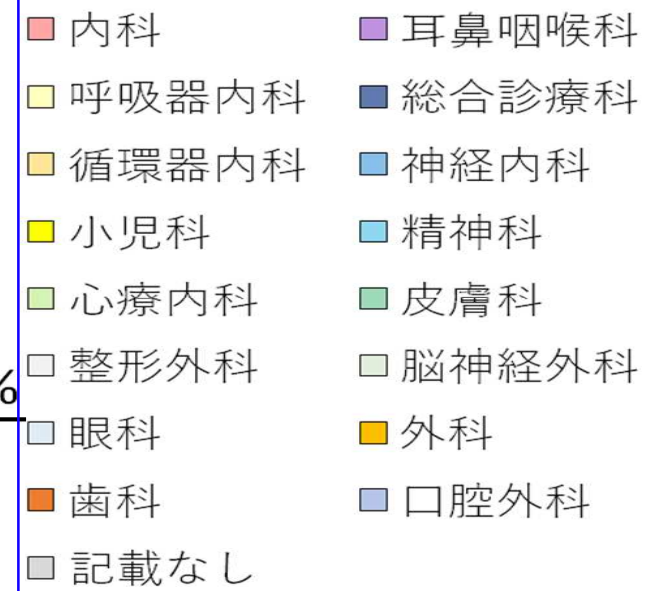
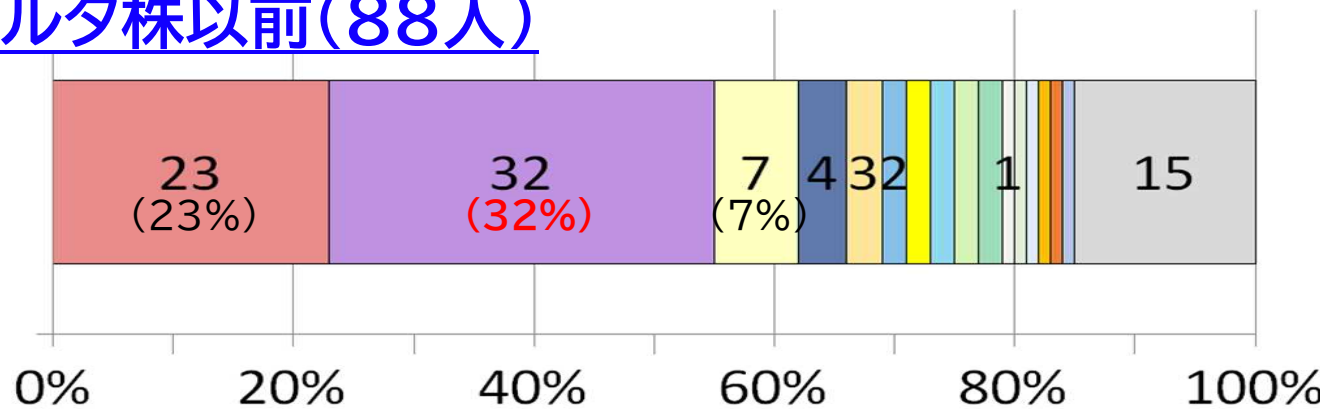
• コロナ後遺症で受診した医療機関は、かかりつけ医やコロナの診断・治療をした医療機関が次第に増加し、デルタ群で約4割だったのが、BA.1/2群で約6割、BA.5群で約8割となった

オミクロン株BA.5(122人)

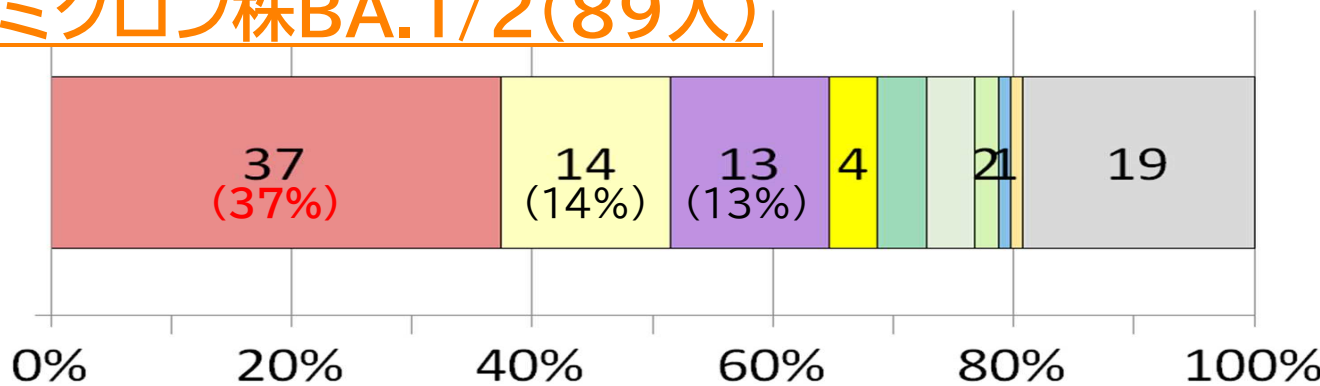


(9)後遺症の受診をした診療科の状況

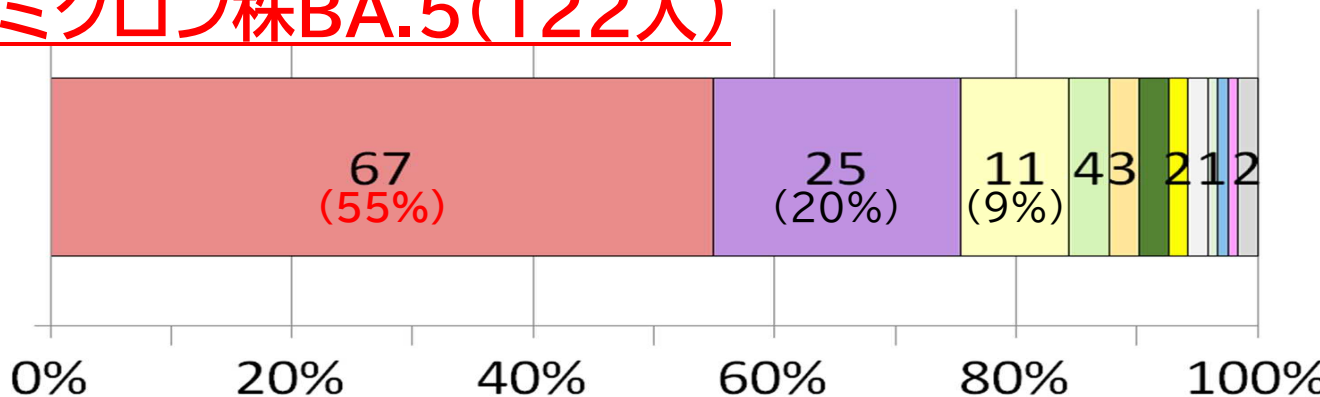
デルタ株以前(88人)



オミクロン株BA.1/2(89人)



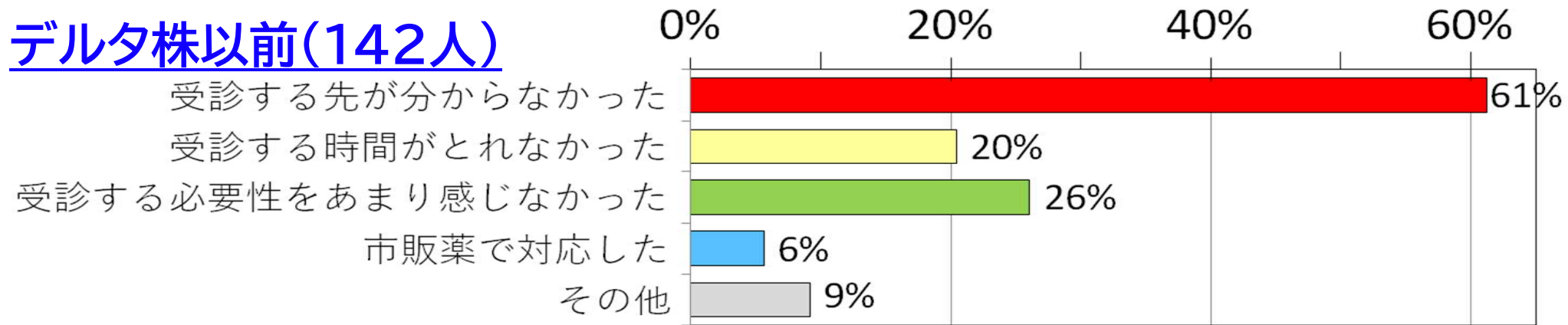
オミクロン株BA.5(122人)



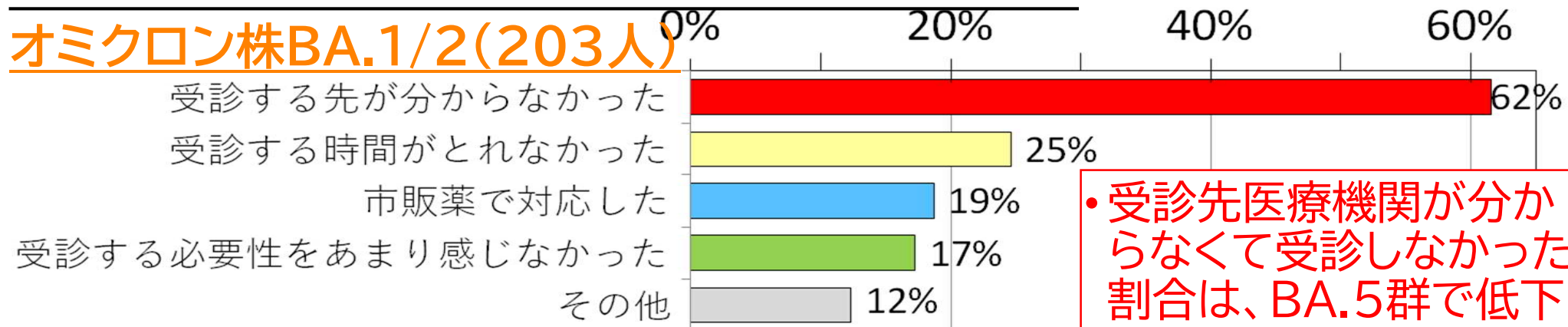
- コロナ後遺症で受診をした診療科は、内科(呼吸器内科を含む)の割合が次第に増加し、デルタ群で約3割、BA.1/2群約5割、BA.5群約6割
- 耳鼻咽喉科は、デルタ群で約3割も、BA.1/2群で減少し約1割、BA.5群で再増加し約2割

(10)後遺症の受診をしなかった理由(複数回答)

デルタ株以前(142人)

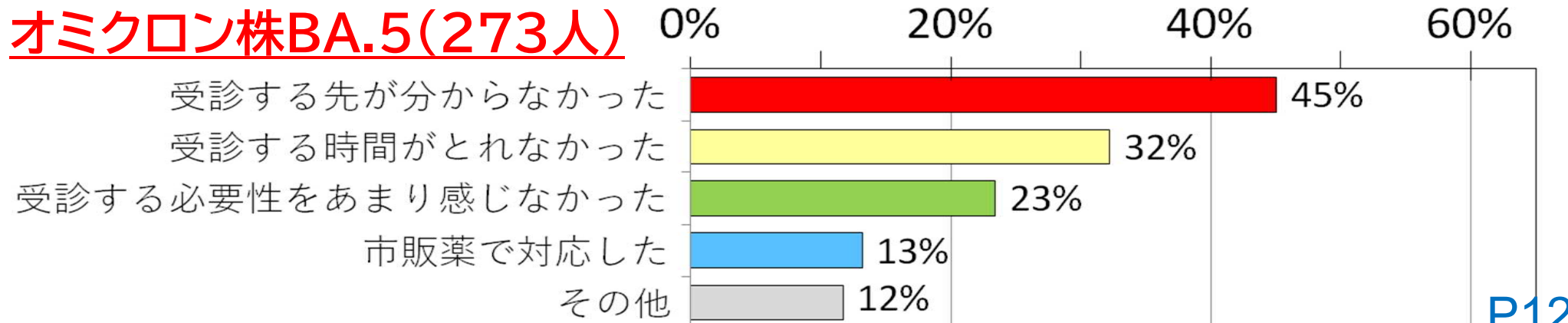


オミクロン株BA.1/2(203人)



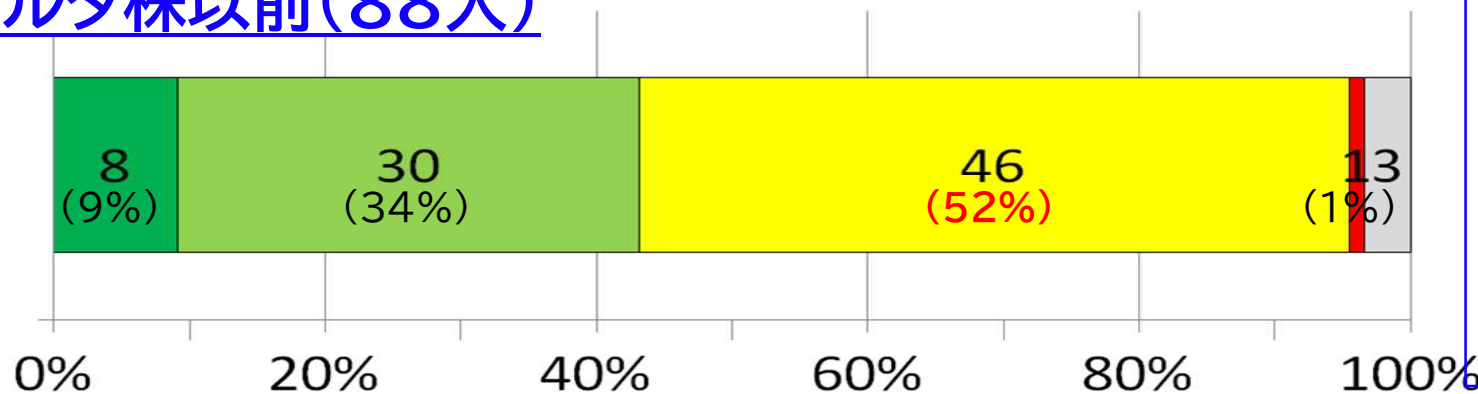
• 受診先医療機関が分からなくて受診しなかった割合は、BA.5群で低下

オミクロン株BA.5(273人)



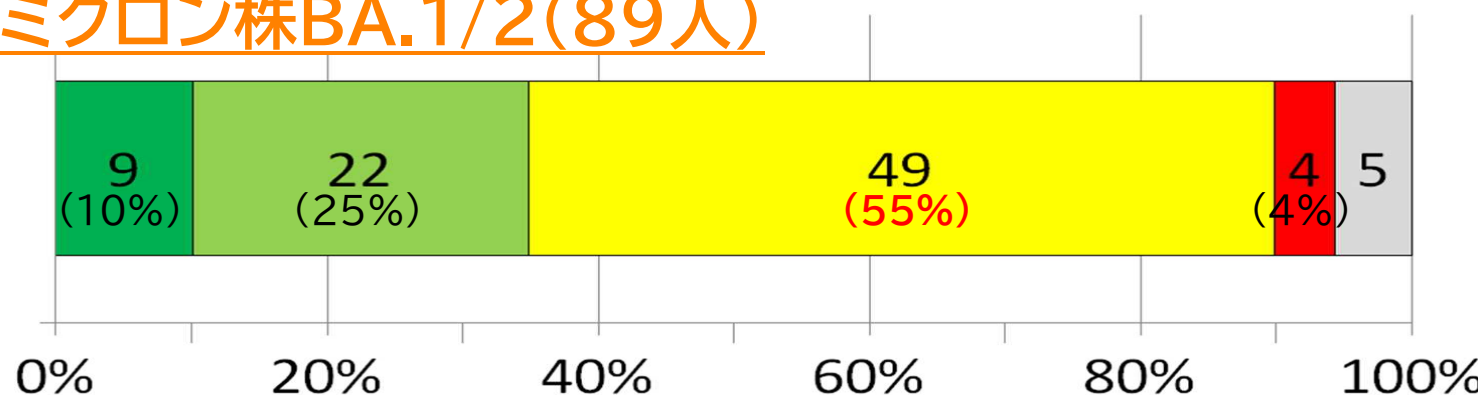
(11)後遺症の受診後の症状の変化

デルタ株以前(88人)



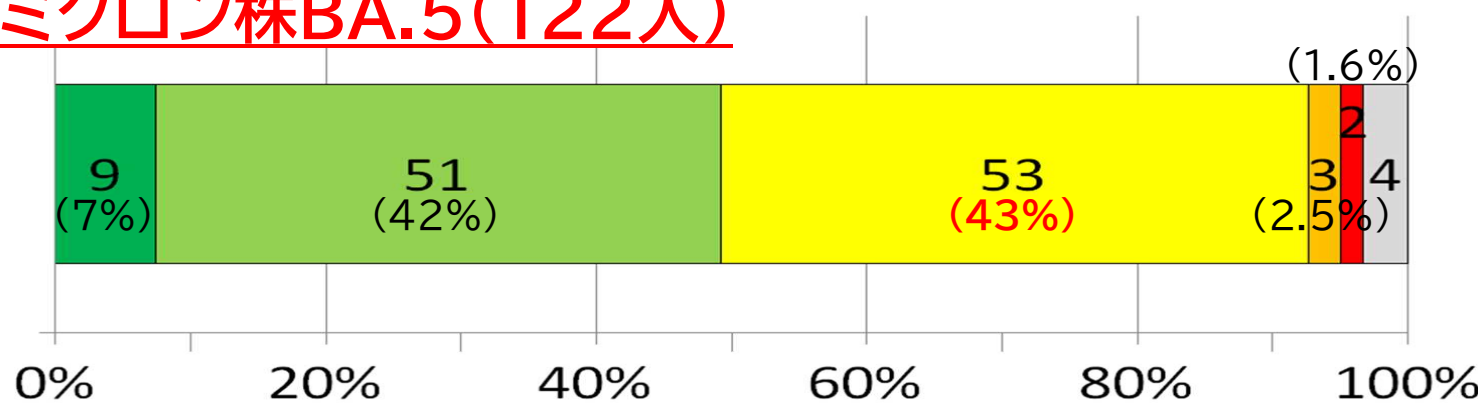
- 良くなった
- 少し良くなった
- 変わらない
- 少し悪くなった
- 悪くなった
- その他

オミクロン株BA.1/2(89人)



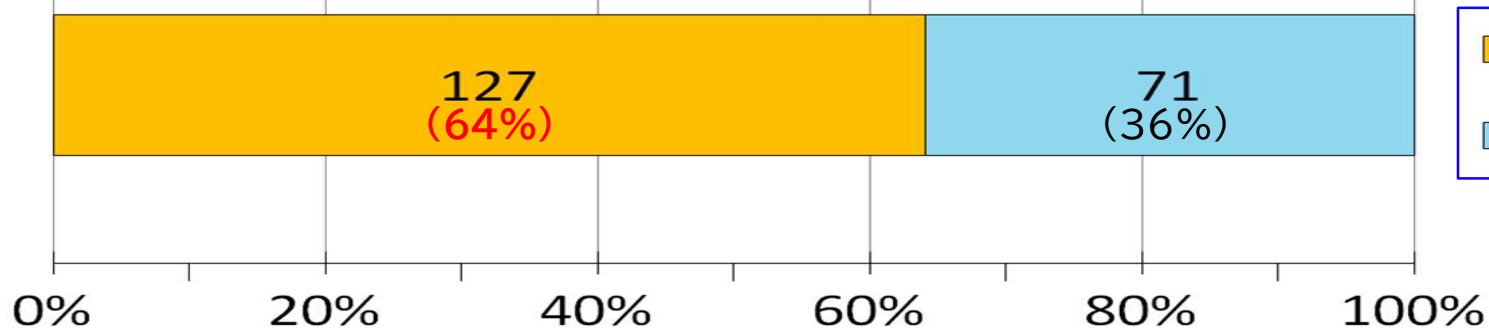
・受診後症状の変化は、デルタ群とBA.1/2群では、「変わらない」が最多で半数以上を占めていたが、BA.5群では、「良くなった・少し良くなった」が半数以上を占めた

オミクロン株BA.5(122人)



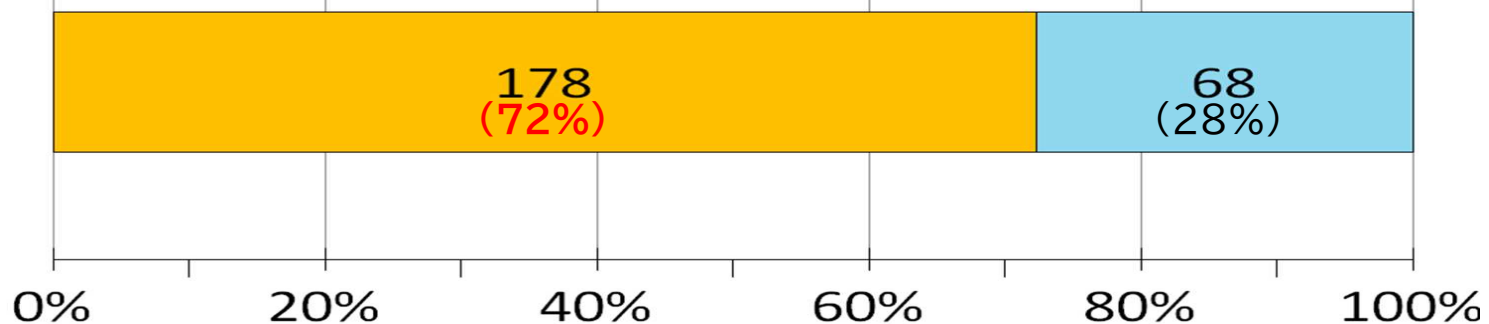
(12)後遺症の仕事への影響の有無

デルタ株以前(198人)



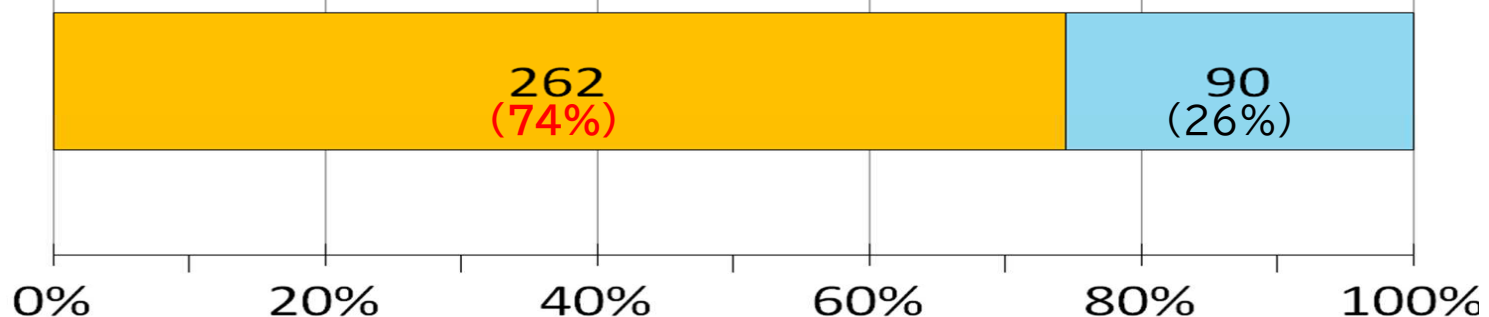
■ 仕事に影響あり
■ 仕事に影響なし

オミクロン株BA.1/2(246人)



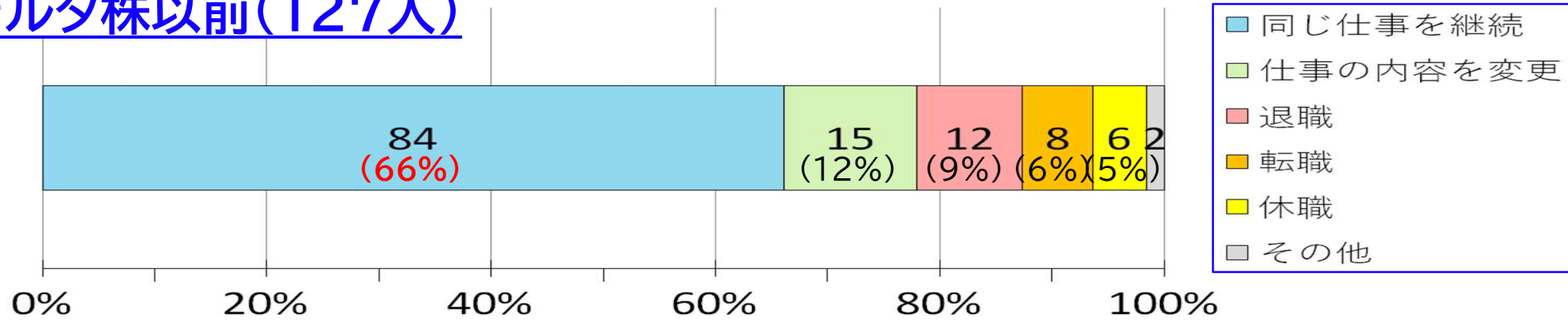
• 後遺症が仕事に影響があった人の割合は、オミクロン群で少し増加し、約7割

オミクロン株BA.5(352人)

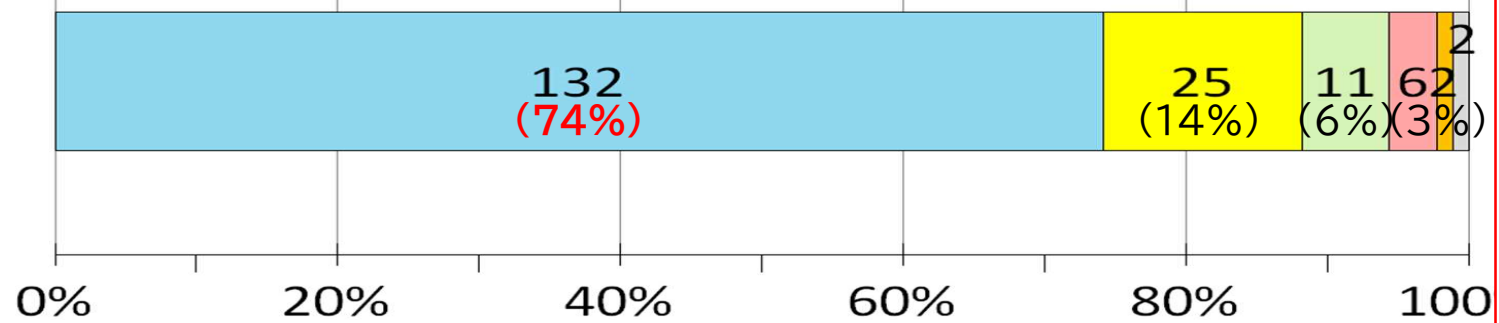


(13)後遺症による仕事の変化

デルタ株以前(127人)

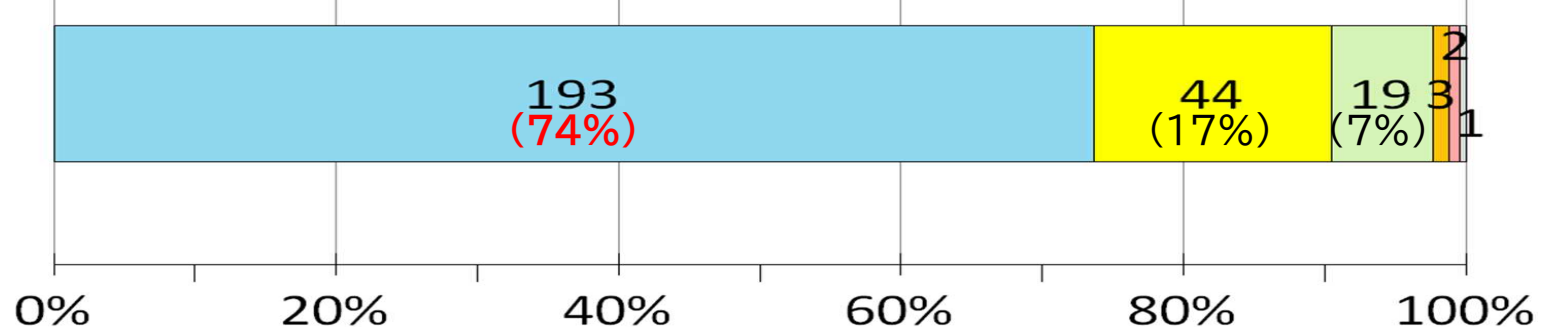


オミクロン株BA.1/2(178人)



•後遺症による仕事の変化は、オミクロン群では退職や転職の割合が減ってほとんどなくなり、休職の割合が10%台に増加

オミクロン株BA.5(262人)



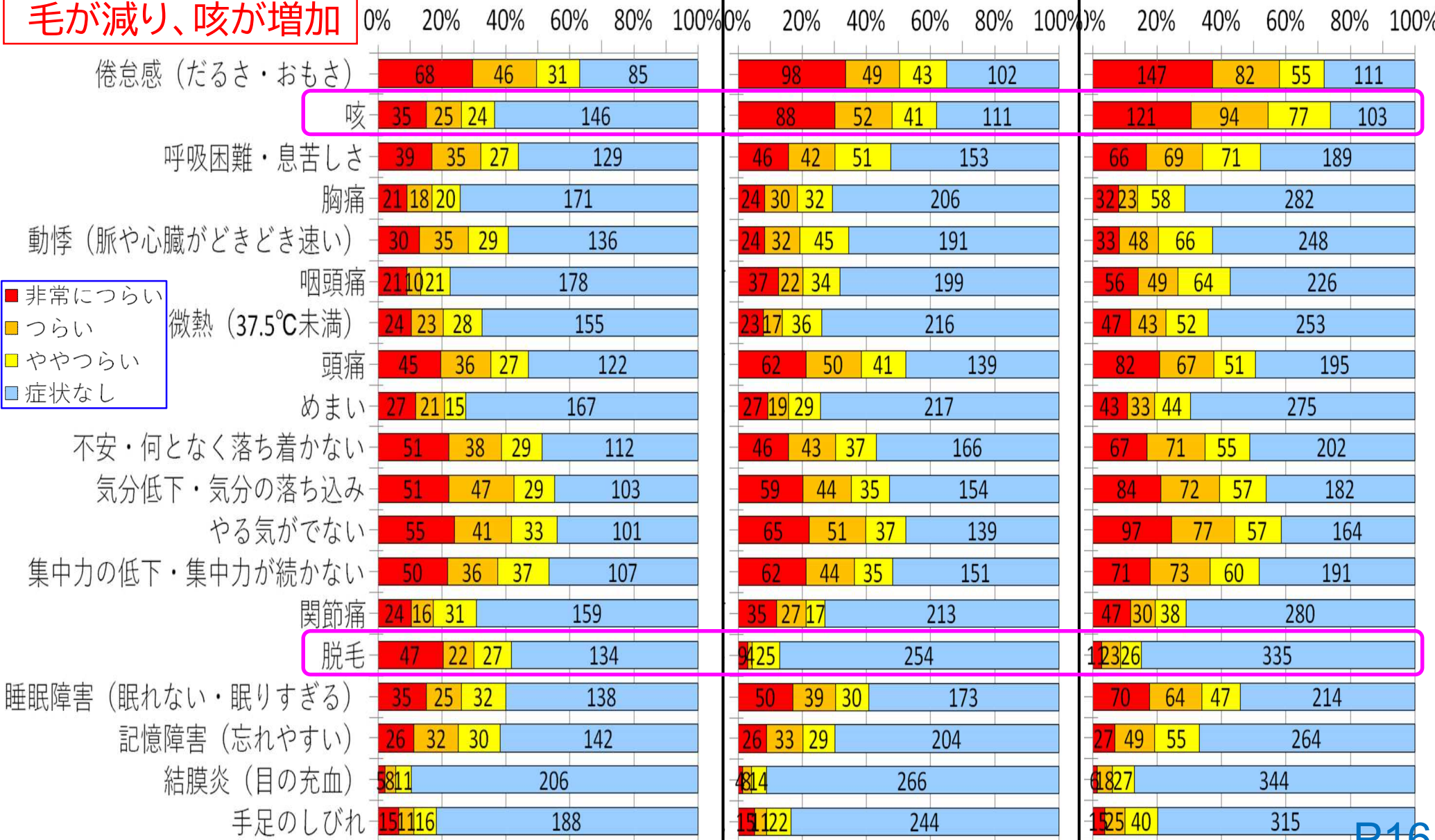
(14)後遺症が最も重いときの症状(嗅覚・味覚以外)

オミクロン群は、脱毛が減り、咳が増加

デルタ株以前

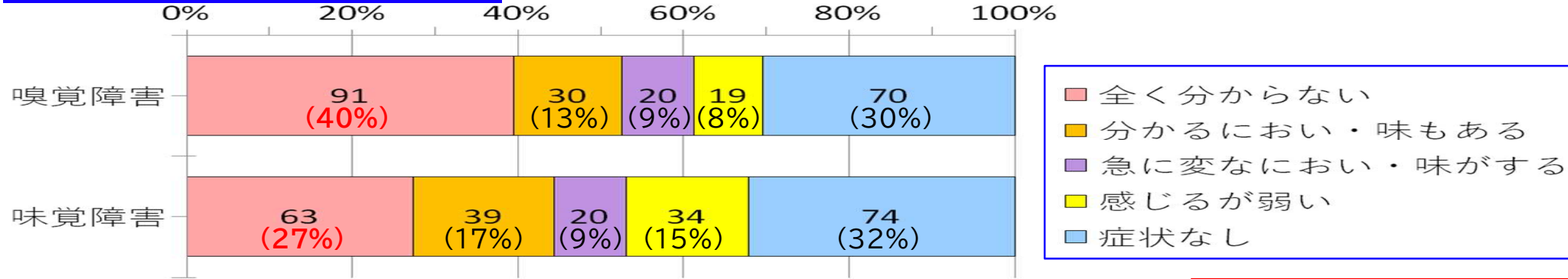
オミクロン株BA.1/2

オミクロン株BA.5

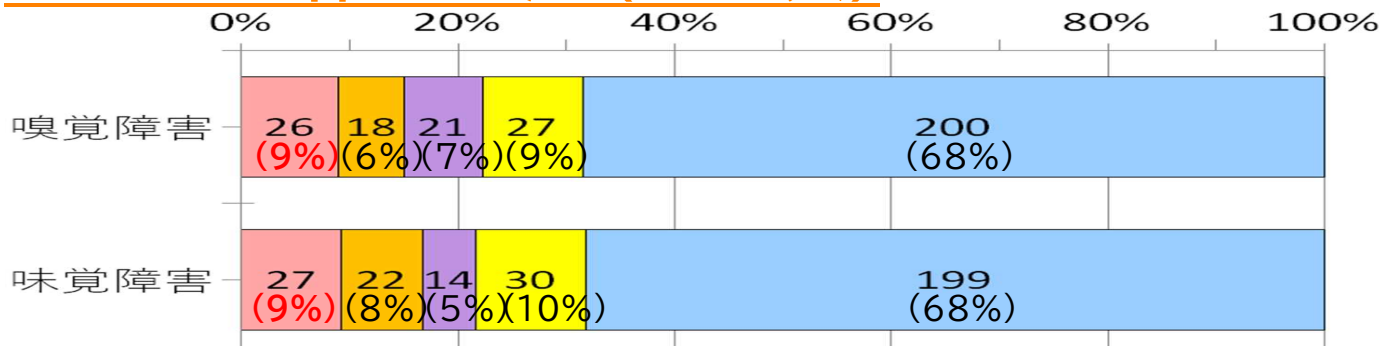


(15)後遺症が最も重いときの症状(嗅覚・味覚障害)

デルタ株以前(230人)

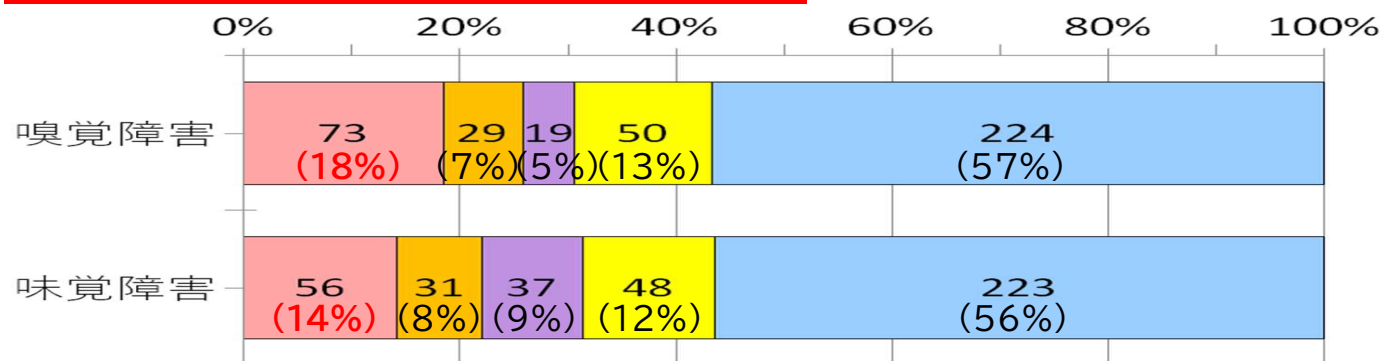


オミクロン株BA.1/2(292人)



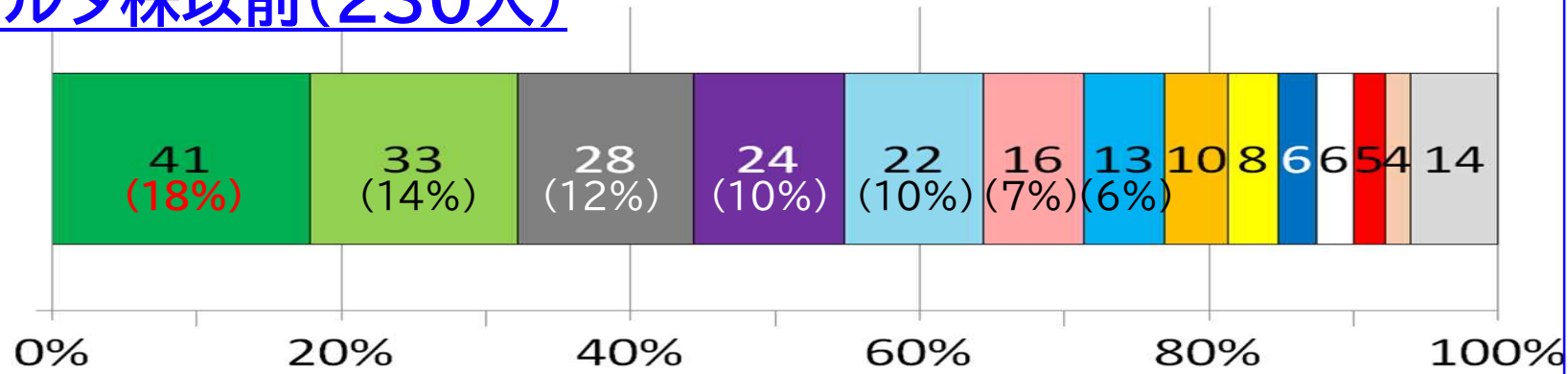
• 嗅覚・味覚障害は、デルタ群では約7割と高率に認めたが、BA.1/2群で半減し約3割となり、BA.5群では4割台に再増加

オミクロン株BA.5(395人)

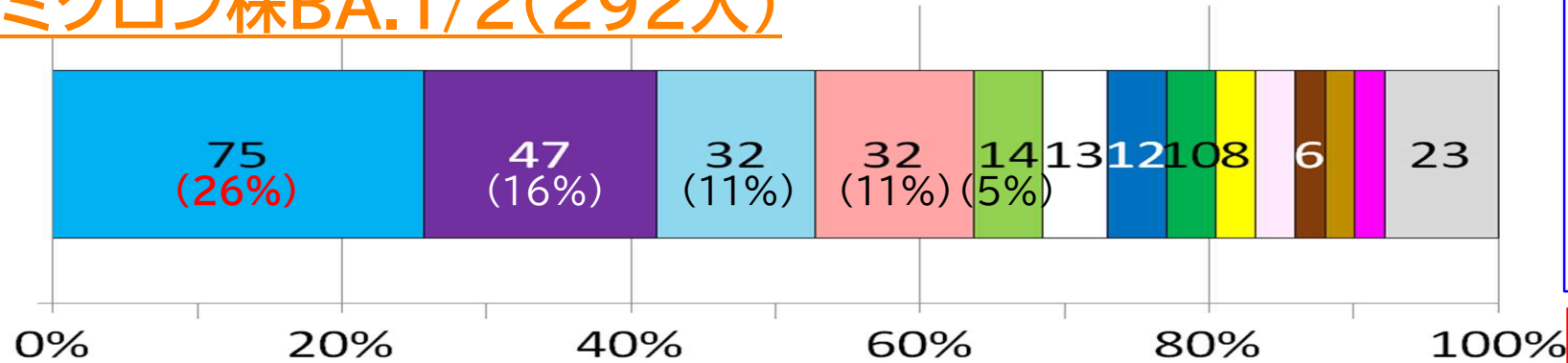


(16)後遺症で一番つらかった症状

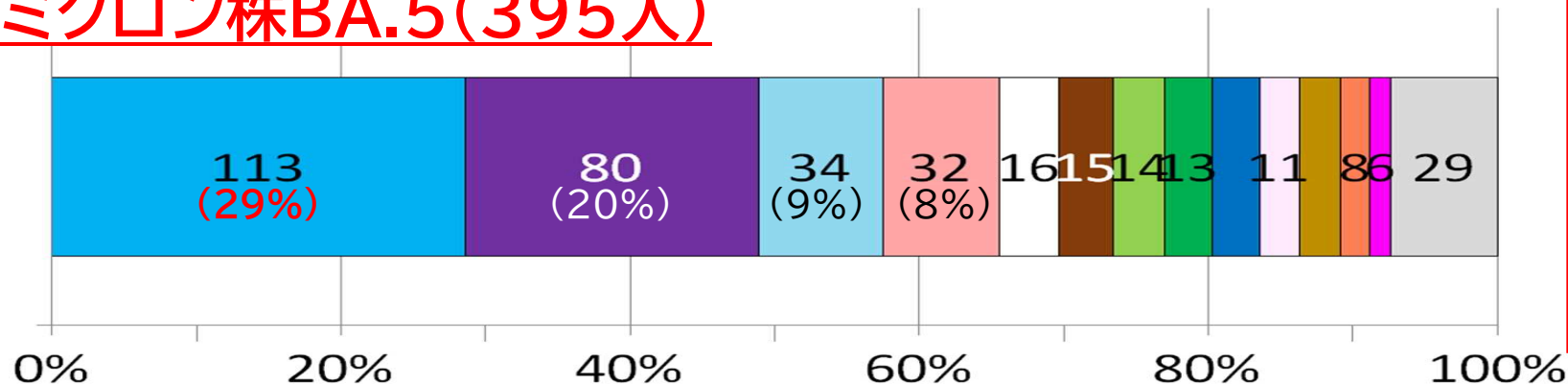
デルタ株以前(230人)



オミクロン株BA.1/2(292人)



オミクロン株BA.5(395人)



- 嗅覚障害
- 味覚障害
- 脱毛
- 倦怠感
- 息苦しさ
- 頭痛
- 咳
- 動悸
- 記憶障害
- めまい
- 睡眠障害
- 集中力低下
- 気分低下
- 関節の痛み
- 咽頭痛
- 不安
- 微熱
- 胸痛
- その他

・オミクロン群では、嗅覚・味覚障害と脱毛が下位となり、咳、倦怠感が上位

静岡県コロナ後遺症調査 デルタ・BA1/2・BA5比較 まとめ

1. 推定される感染株が、**デルタ株以前(230人)**、**オミクロン株BA.1/2(292人)**、**オミクロン株BA.5(395人)**の3群で静岡県の後遺症アンケート回答内容を比較した。
2. **3群とも女性が約7割**で、**40歳代が最多で約3割**、30歳代が次に多く約2割で、この2つの年代で過半数を占めた。
3. 自宅療養者は、デルタ群で6割、BA.1/2群で9割、BA.5群で98%と増加した。
4. 後遺症がある期間にワクチン接種を受けた場合の症状の変化は、不変が最多で5~6割、悪化は2~3割で、オミクロン群では接種による改善が減少する傾向を認めた。
5. **後遺症の受診をした割合は、3群とも約3割**で、**受診先は、かかりつけ医やコロナの診断・治療医療機関の割合が次第に増加**しデルタ群の4割からBA.5群の8割になり、診療科は、デルタ群では耳鼻科が最多だったが、オミクロン群は内科が最多。
6. 後遺症の受診をしなかった理由のうち、**「受診先が分からなかった」**は、**デルタ群とBA.1/2群の約60%からBA.5群ではやや減少し45%**であった。
7. **後遺症の受診による症状の改善は、BA.5群が最も多く約5割**であった。
8. 後遺症が仕事へ影響した割合は、3群とも6~7割だが、職場の理解が進んだためか、**オミクロン群では、退職や転職がほとんどなくなり、休職が10%台に増加した。**
9. 後遺症が重い時期の症状は、オミクロン群は、脱毛や嗅覚・味覚障害が減り、咳が増えたが、**BA.5群はBA.1/2群よりも約1割嗅覚・味覚障害が増加した(デルタ群では約7割、BA.1/2群では約3割、BA.5群では約4割)。**
10. **一番つらかった症状は、デルタ群では嗅覚障害、味覚障害、脱毛が上位3症状**だったが、**オミクロン群では咳、倦怠感、息苦しさが上位3症状**になった。